

あうとのみあ

地域・地元 に根ざす
公立中高一貫校受検
中学受験・高校受験の
So You! 早友学院

あうとのみあ とはギリシャ語で自立を意味し、早友学院の指導理念を象徴することばです。

「計画学習」は最も学習効果を高める学習法です。

保護者の皆様の悩みの種である学習習慣作りにもうってつけです。

計画学習の大切さ

「計画を立てる」とは、自分の時間を自分で管理するという意志を明らかにすることです。計画を作ったら自分で管理していかなければなりません。自分で自己管理を行うことは「自立」への第一歩だから大切なのです。

学習計画表を作ろう

まず1週間の日課表を作ります。完璧なものよりも、目安として作ってください。1週間の予定表ができたなら、学習予定表を一定の期間を目安にして作っていきます。一ヶ月をこえる長期の予定表にも挑戦しましょう。

計画が行き詰まったら

最初は張りきって無理な計画を作ってしまうことがあります。これが長続きしない最大の原因です。こわがらず、三日坊主になりましょう。原因を分析し、少し修正して再度作ってください。うまくいくようになるまで、何度でも修正しましょう。「まずはできることから」が長続きさせるコツです。

「計画学習」

古来「読書百遍意自ら通ず」といい、わかりにくい内容も繰り返すことで理解できるようになるといわれてきました。学習も同じで、5回も6回も復習を重ねていくと、知識として定着します。この考えに沿って計画を立て、学習を進めていくのが「計画学習」です。

授業と家庭学習の反復復習を学習プログラムに組み入れています。表を参考にして復習を心掛けてください。授業を受けたらその日のうちに復習します。次の授業の際には、一斉発声の形式で短時間



に復習します。これを1週間後、2週間後、...1ヵ月後と繰り返し、反復復習する学習習慣を自然に身につけていきま

す。繰り返し復習することで知識が定着し、回を重ねるごとに時間が短縮されるから楽しいのです。

2024 夏期講習

期間：7/20～8/31
※講習の日程は、各教室で異なる場合があります。

コース	学年	科目
小3脳育授業	小3	脳育授業
公立中高一貫校受検	小4	思考する算数・科学系、読解作文・社会系
		サイエンス入門
	小5	思考する算数、読解作文
		サイエンス
		算数特訓
	小6	思考する算数、読解作文
		算数特訓
私立・国立中学受験 (亀戸のみ)	小4	算、国、理、社
	小5	算、国、理、社
		算数特訓
	小6	算、国、理、社 がむしやら勉強会
区立進学 (金町のみ)	小4	算、国
	小5	算、国
	小6	算、国
高校受験	中1・2	英、数、国、理、社
		英、数、国
	中3	英、数、国、理、社
		英、数、国 英数特訓

小6公開模試 小6首都圏模試 中3Vもぎにむけて

受験学年の模擬試験が始まっています。4月には私立・国立中学受験コースの首都圏模試、5月には公立中高一貫校受検コースの早友学院主催の公開模試、7月には中3高校受験コースのVもぎが始まり、入試に向けた準備が本格的に始まります。

さて、模擬試験を受けることにどのような意味があるのでしょうか。例えばスポーツの「練習試合」は、試合形式で日頃の成果を試す「真剣勝負」でもあります。この真剣さが重要です。模擬試験でも同じです。必死に取り組むことで大きな効果を得られるのです。

しかし、せっかく模試を受験しても、成績に一喜一憂するだけで終わってしまっただけでは意味がありません。成績が良いにこしたことはありませんが、模試の最も重要なことは、「今後の勉強にどう役立てるか」ということです。今の自分の実力を知り、何が足りなかったのかを分析

し克服することにより、学力を上げる機会にすることが大切です。

では模試の後、何をしなければいけないのでしょうか。まず「解き直し」です。間違えた問題・解けなかった問題は、どこをどう間違えたのか、どのように解けばよかったのかをしっかりと確認しましょう。そうすることが、自分の弱点を無くしていくためのしほり込んだ勉強になるはずです。模試での間違いや失敗は学力アップのチャンスと考えましょう。本番は一つの教科で合否が決まるのではなく、総合点で判定されます。必要なのは総合力です。弱点補強にこそ、総合力向上の鍵があるのです。

また解き直しのポイントは、試験終了後に配られる解答・講評をきちんと理解することにあります。模試の緊張がさめないうちに自宅に直行して、徹底的に復習することで、模試は生きてきます。そして解説を何度読んでも理解できない部分や、解答だけでは解けなかった問題には印を付け、翌日には教室で先生たちに質問し、疑問点を解決しておきましょう。

では解き直しが終わった模試の問題をどうするか？試験当日だけの復習で終わらせてしまうのではなく、模試の問題・解説は、いつでも使える状態にしておいてください。捨ててしまうなどというのは論外です。種類ごとにファイル

し、何回でも復習できるようにしておきましょう。

何度も解き直しをすることには意味があります。模試直後に徹底的に復習しても、「わかったつもり」になっただけで、身に付いた理解になっていない場合もあります。特に、夏休み前の今の段階では、自信を持って理解したと言い切ることは難しいと思います。しかし、I期を終了し、夏期講習を終えた段階で復習をしてみると、かなりの部分を「わかって解く」ことができるようになっていくはずです。またそれが、「自分で解くことができる」という自信にもなるでしょう。そこまで復習して使い込んでこそ、模試を受けたといえるのです。

もう一つ、自分のこれまでの答案を少し見直してみてください。「読んでもらえる字」になっていますか。「意味の通る文・文章」になっていますか。自分にしかわからないものになっていませんか？提出物であることを意識した答案にすることも大事ですよ。

最後に、学院では模試ごとに保護者面談や生徒面談を実施しています。面談を通じ、今後の学習法や指針を具体的にアドバイスしていく予定です。

(亀戸教室 加藤 将茂)

5月12日父母学校開催に寄せて

5月12日(日)に公開模試と同時開催しました父母学校のこぼれ話をお伝えします。

コロナ禍に見舞われる前の公開模試では、毎回父母学校が開催されておりました。夏休み前には、都立の校長先生を、二学期には適性検査型入試を行っている私立の校長先生(過去に都立一貫校の校長経験を持つ方など)をお招きして、講演会、質疑応答などたっぷり時間をとった、他社が行う講演会とは一線を画するものでした。

感染症対策で、中断を余儀なくされていたこの父母学校をようやく復活させることができたのが、昨年。模試と同時開催ができるようになったのは、今年の5月です。早友学院の教室展開の関係もあり、一番受検希望者の多い両国高校附属中学校の金田校長先生にトップバッターをお願いいたしました。ご快諾を得まして、前半を校長先生のプレゼンテーション、後半を副校長先生による補足説明と質疑応答という形で保護者の方々にしっかりと情報をお伝えすることができました。

6年生対象ということもあり、学校生活や受験の申し込み方法など多岐にわたる質問が出ましたが、明快にお答えいただきました。

特に関心が高かったのは、英語教育に関するものでした。英語を学習したことがない生徒の多くが6年間の学習を経ると、英検2級レベルに達することができることや、海外研修の充実はとても魅力です。(あとから伺ったことですが、海外大学への進学者もいるそうです。)小学校の間に特別な英語の勉強は必要ないとのこと説明で、多くの保護者の方がご安心なさったと思います。適性検査対策へ集中できますね。

(※ただし適性検査に英語が入ることは、今のところないとのこと、学校の「外国語」は報告書点に入るので、学校の学習はしっかりやってください。)

出願については、願書配布説明会で詳細が説明されます(例年11月末ごろ)。ネット出願ですが、報告書などは郵送が必要であることが説明されました。

中学から高校へはエスカレーター式で進学できるため中だるみが心配ですが、中3には論文(卒業論文)作成があるとのことでした。

ご参加いただいた保護者の皆様からは、アンケートという形で様々なご意見を頂戴いたしました。今後の父母学校などのイベント開催にお

いて参考とさせていただきます。

今回の父母学校は6月29日(土)、4年生から6年生対象に行います。小石川中等教育学校、白鷗高校附属中学校、両国高校附属中学校の校長先生をお招きして、それぞれ講演を行っていただきます。各学校40分程度の持ち時間となっております。早友学院ならではの、かしまらないお話が期待できますので、ご参加をお待ちしております。お申し込みは早友学院ホームページよりお願いいたします。

(東陽教室長 依藤 聡)



連休特訓に参加して

小学6年生 S.T.

私はこの連休特訓が始まる前少し不安に思っていました。なぜなら、あと10ヶ月程で受験のシーズンになるため、しっかり周りについていけているかなど考えていたからです。

連休特訓が始まると、不安がなくなりました。それは、他にも緊張している人がいたからです。おそらく、この連休特訓という場所で受験へどのように対応していくかや、メンタルを強化し本番の時など鉛筆のカリカリする音などにもひるまず自分で正解を出すためにあるのだと思います。自分も一日目は少し本調子ではありませんでしたが、二、三日目からは自分の解いている問題だけに集中することができました。

将来小、中、高、大と学年が上っていくにつれてテストなどが多くなると思います。でも自分に自信をもち、一生懸命テストなどに取り組みたいです。このことから連休特訓はメンタル強化などのためにあると考えました。

小学6年生 K.K.

私は、連休特訓が始まる前は、正直行きたくなかった。なぜなら、連休なのに、休めず、疲れるのがいやだったからだ。でも、自分のためと考え行くことにした。この特訓が終わり、私は改善すべきところを明確にできた。

それは、あせってしまうことだ。適性ⅠでもⅡでも、作文が上手に書けなかったり、会話文の大事な所に気が付くことができなかったりして、あまり良い点を取れなかった。あせってしまう理由として自信がないからだと思う。自信がないと「やばい」と思った時に集中が切れてしまう。そんな時には、「大丈夫絶対できる」と考えて取り組むことが大切だと思う。

これから本番に近づいていく中で、さらに難しい問題が出てくるだろう。そんな時でもあきらめず、自分を信じて集中することが大切だと思う。まずは自信をつけるために様々な問題を解いていくことから始めていきたい。

小学6年生 Y.M.

私は、連休特訓に参加する前には、復習の大切さがあまり分からず、復習を少ししかやっていなかった。「めんどくさいしやってもやらなくても変わらない」と思っていたのかもしれない。

だが、連休特訓を受け、解き直しをしてみると、自分が分かっていない問題がたくさんあり、見過ごしていた問題もあったことに気が付いた。解き直しをすると、その問題が理解できるようになり、しかも、深く考えれば他の問題ともつながりがあると思えたこともあった。なぜ、こんなに良いことをはじめてからやろうと思わなかったのか、疑問に思ってしまった。

この連休特訓で、やっと復習の大切さを知れたと思う。前は「やりたくない」思いだったのだろう。でもこの失敗がなかったら、復習の大切さに気付かなかったかもしれない。これから失敗を成功にかえながら、色々なことを学んでいきたい。

小学6年生 I.W.

連休特訓が始まる前は、いつもの授業は二時間なのに、四時間

もあるから大変そうだと思っていました。

そして、連休特訓が始まって、テストの内容はとても難しく、やっぱり大変だと思いました。しかし、テストでは全く分からなかった問題の解説を聞いて、それでも分からなかった所を家で母に解説してもらい、解き直しをしたら、簡単にできるようになっていました。できなかった問題ができるようになった経験をしたら、またその経験をしたいと思いました。そして次の日から前と比べてテストをして、問題を解くことが好きになりました。

私は連休特訓を終えて、分からない問題の解説をよく聞いて解き直しをすれば、必ずできるようになることを改めて実感しました。だから、これからは苦手な問題にも自ら取り組み、解き直しをして受験に向けて、努力をしたいと思います。

小学6年生 I.A.

私は、今回の連休特訓が初めての連休特訓でした。初めて、特訓に行ってすごく緊張したりもしたけれど、自分の中ではかなり成長できた三日間だったと思います。

連休特訓初日は、テストばかりでおどろきました。分からない問題もいっぱい、連休特訓に行くのは気が乗りませんでした。変化があったのは連休特訓二日目のことでした。録成プリントの問題が少しわかり、連休特訓が嫌ではなくなりました。連休特訓三日目は、慣れたこともあってか自己採点で良い点を取れました。私は、この三日間の連休特訓で、あきらめずにやることで自分の成長にもつながると学びました。

これからの将来で、嫌なことや困難に直面することもあると思います。その時にできなくてもいいから少しでもその困難にくらいつくことで、何か自分に変化があるかもしれません。だから、今後は何事もすぐにあきらめるのではなくくらいついていきたいです。

小学6年生 T.R.

連休特訓に参加して解き直しとノートをとることの大切さを学ぶことができた。

初日に行って適性検査ⅠとⅡ、録成プリントも終わった。その次にあったのは「解説」だった。解説を聞くときにあまりノートをとることはしていなく、少しだけメモをしておくという状態だった。しかし、そうしてしまうともう一度解き直して分からなかったときに、答えを見ても全く分からないまま終わってしまうことに気が付いた。家に帰ってから適性検査ⅠとⅡそして録成プリントの解き直しをすることで解けなかった問題の考え方を時間をかけて考え、答えにたどりつくことができた。

この二つの経験を通して、ノートをとることの大切さを改めて実感することができた。これからも日々の授業でノートを取り、毎回、その日のうちに解き直したい。そして、その日にやったことは、先生の言った通りに自分のものにしたいと思う。

小学6年生 Y.N.

私は、連休特訓が始まる前には、連休がすべてなくなってしまい、悲しいし、いつものメンバーじゃなく、とても緊張しました。しかし、少しどんなことを学べるかわくわくした気持ちもありました。

連休特訓では、毎日テストをしました。別のプリントもやりましたが、分からないことばかりで、解説には全然ついていけませんでした。そこで、いつもの塾のテストでいい点数が取れても、初めて見るような問題ができるとはかぎらないと分かりました。

三日間で一番分からなかった浮力は復習や質問を繰り返してできるようにしたいです。

これからは、今回の連休特訓で分かったことを生かして、どのような勉強をするべきか考えたいです。先生たちが言っていた復習も毎週かかさずにやっていけたらいいと思います。これからも苦手な所をできるように頑張っていきたいです。

小学6年生 A.M.

私は今回の連休特訓に行くことが、初めはあまり乗り気ではなかった。しかし、この三日間で私は特に力がついたと思うことが三つある。

一つ目は、集中力が上がったことだ。一日目は適性Ⅱで集中力が続かなくなってしまったが、三日目は適性Ⅲが終わった後の解説まで集中することができた。二つ目は計算のスピードが上がったことだ。集中力が上がったせいでもあると思うが、たくさんの問題を解いたおかげでもあると思う。三つ目は作文のしあがりが上がったことだ。一日目は全て書き終わるのでせいっぱいだったが、三日目は見直す時間ができる程、スムーズに書くことができた。そして、十点だったのが五十点と大はばに得点を上げることができた。

これから勉強がまたハードだと思った時、今回の連休特訓のように絶対に力がつくと思って取り組んでいきたい。

小学6年生 K.R.

私は、連休特訓に参加する前は、いろいろなことが面倒だと思っていた。指定された会場に行くのも、四時間勉強するのも、面倒だと思いました。

連休特訓に行ってから、問題を解くのが楽しくなりました。国語では時間配分や、文章の構成の捉え方、算数では問題の解き方の順序、構成プリントではいろいろな知識を学ぶことができました。私は、最初は問題がかなり難しく思い、点数も四十点程度しかとれませんでした。いろいろと学んで、ついには六十点台までいきました。このことから、連休特訓は重要なものだと思います。

今後は、塾のことだけではなく、いろんなイベントに参加していきたいと思います。いろいろな経験を積むことで、いろいろなことを学ぶことが出来ると思います。

小学6年生 Y.Y.

私は、連休特訓が自分自身にとって大きな学びになったと思います。それは、あきらめず、勉強をすれば、必ず結果がでるということです。

私は、連休特訓の最終日に高久先生のお話の中で強く心に残った言葉があり、それを実行してみました。その言葉というのは、「三日間連休特訓をしたのはすごいことです。また、間ちがえた所を穴うめすればいいです。」

私は、今まで間ちがえた問題以外にも広く復習していたので苦手な問題が多く残っていました。ただ、先生が言った、間ちがえた所を穴うめすればいいという言葉をきちんと頭にたたみ込み、家に帰り何回も間ちがえた所の復習をすることで苦手な問題を克服することが出来ました。

私は、中学校に行くと、今まで以上に多くの難しい勉強があるので、そんな時こそ高久先生の言葉を思い出して、難しい問題を克服したいと思います。

中学生テスト対策！自修会活用、内申書アップに塾を利用しよう！

早友学院では、各生徒の志望校合格を目標に指導をおこなっています。志望校合格を勝ち取るためには、中学校の通知表で高い内申点を取ることで、基礎問題から応用問題まで対応できる学力を身につけることが必要になります。充実した中学校生活を送りながら、受験に必要な学力も同時に培っていかねばいけないということです。

高い内申点を取るためには、①定期テストや各教科の小テストで高得点を取ることで（テスト終了後は必ず解き直しをすること）②課題（提出物）を期限内に提出すること③授業態度（授業をしっかり聞く、積極的に発表する姿勢）が特に重要になります。

定期テストで高得点を取るためには、テスト前の計画的な学習が大事になります。早友学院では、自分で計画的に学習する環境を「自修会」という名で提供しております。ご自宅ではテレビやゲームなどの様々な誘惑がありますか

ら、自修会をどんどん活用していきましょう。自修会では誘惑も無く、周りも勉強している生徒ばかりなので、「自分も頑張ろう」という気持ちになれると思います。

自修会を利用する際は、学習計画表・チェックリストを用いて、やらなければならないことを全て実行するように、具体的な計画を立て、教科書・ワーク・配られたプリントに取り組みしましょう。例えば、計画では〇月〇日は教科書の〇ページから〇ページというように具体的に学習計画を立て、チェックリストで目標回数が達成できたかどうかチェックするという具合でおこなってください。テスト範囲は最低3回は解くようにしましょう。教科書がどれだけ読み込めたかということも成績の分かれ目です。隅から隅まで徹底的に読み込んでいきましょう。

定期テストに出題される内容は、授業で習ったことが中心です。先生が授業中、特に強調したところや繰り返し説明したところ、板書でチ

ョークの色を変えたり、線を引いたり、○で囲んだりしたところは（ノートに写すときも同じように、色を変えたりマーカーで囲んでおくこと）授業後に必ず復習をおこないきましょう。また、テスト前に先生がもう一度説明したところも重要です。テストに出やすいところなので、注意してください。

また、ワークなどの課題は学習内容の確認作業の一貫です。自らの知識の確認という意味でしっかり取り組んでください。現在習っていることが高校入試に直結しているという意識を持ち、学習に取り組みましょう。

「やらされている」という受身の姿勢から「自ら進んでおこなう」という自立の姿勢を自修会で養い、実力をつけていき志望校合格を勝ち取りましょう。ご家庭の皆様におかれましては、ご協力お願いいたします。

（亀戸教室長 逆井 茂）